

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	大曲校		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年12月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和6年12月16日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教育及び保育等の現場を経験している職員が揃っている為、お子さまの気持ちの汲み取りや発達の見取りが適切であること。	表情、しぐさ、発声等、様々なお子さまの姿から関わった指導員が申し送りや報告をする。それを踏まえ、職員間で情報共有し支援プログラムへと反映させている。	個別支援計画及び専門的実施計画立案の際は、お子さまの姿と共にご家族様の気持ちを十分に汲み入れた計画となるよう定期的または必要に応じて会議をしていく。
2	お子さま及びご家族様の思いを受容し、全職員で捉え、様々な提案、支援の提供を一緒に考えていくことができる温かな教室の雰囲気作りができていること。	職員が各自、内部研修や外部研修に参加している。	一層、質の高い支援を提供できるよう、職員が各自、自己研鑽を積み重ねていく。
3	地域で育つお子さまへ、様々な情報提供ができる、地域との連携が図れていること。	地域の機関との連携。 ・大仙市児童支援部会への定期的な参加。 ・5歳児相談会へスタッフとしての参加。	担当者会議等を継続又は回数を増やし、お子さまが通われている園、学校等との連携を図っていく機会をもつ。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全身を捉え、発達を促すことが必要とされるお子さまがいらっしゃるが、粗大遊びを取り入れた活動がやや少ないこと。	教室内のスペースが狭いため、同時間帯に利用されているお子さまに影響を与えてしまうことがある。	理学療法士を中心に職員間で研修をする。 (限られたスペースで行える動作アプローチの仕方等)  利用時間(特に1・2歳児)の調整をその都度ばかり、2ブースを使用し、支援できるようにする。
2	小集団活動の回数を増やしていく必要がある。	個別支援による伸びが見られ、コミュニケーションの力が高まっているお子さま、コミュニケーションを課題とされているお子さま方へのステップ向上を図れるような時間帯等の調整が行えていない。	月に2回程度及び時間調整を図り、小集団活動を実施していく。
3	SNS等での情報発信が少ないこと。	作成担当を決めてはいるが、作成時間の確保が困難なことが多かった為。	イベント等の案内のみならず、日々の様子やトピックス等を定期的に発信していく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 大曲校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2024年 12月 2日

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	4	1	0	・体を動かす活動の場合、スペースのせまさを感じます。	・ご不便をおかけしております。2ブースを1ブースとし、できる限りスペースの確保ができるように努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	0	0	1		・配置基準を満たしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	0		・一層、清潔で快適な生活空間を保てるよう、徹底してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	0		・スモールステップで支援する事で固定化しているプログラムもございますが今後は、様々な視点が活動に取り入れられるように工夫をしてまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	1	6		・保育所等との交流を今後検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	1	6		・相談援助として家族支援を行っております。ペアレントトレーニング等に関しては、他事業所等で開催される研修をリーフレット等でご案内しております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	1	9		・定期的にイベントを開催しております。兄弟児さんにおいては、今後検討をしてまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	3	0	4		・ご家族様へのフィードバックの内容の充実を図っておりますが、SNS等での発信回数を増やしていけるよう改善いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	2		・毎月訓練を行っております。 (火災、地震、水害、不審者)
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	・嫌がらず、とても楽しみにしている。 ・毎週、楽しく過ごしています。 ・“☺”	・温かなお言葉ありがとうございます。今後も、お子さまが楽しみに通っていただけるような支援プログラムの提供に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	・楽しく活動するための工夫がされている。 ・いつもありがとうございます。 ・“☺”	・興味に応じた活動や遊びを通して発達を促して行くことができるような支援プログラムの提供に努めてまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	大曲校
------	-----

公表日 2025年 2月 15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	・2ブースを1ブースとして支援を行うなど、工夫をしております。	・3歳未満児のお子さまの利用が増えており、安全に体を動かせるスペースの確保をしております。また使用する教材、教具も多い為、ゆったりと遊べる環境作りに努めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・活動や遊びを安全に楽しむことができるよう、お子さまの視線の先を考慮した用具の配置、また目に優しい色彩環境にも配慮しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・お子さまの姿を職員間で共有し、専門的でポイントをおさえた支援ができるようにサービス担当者会議を実施しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		・同じ目標設定であっても、お子さまの興味に応じて、楽しく活動できる内容を提供しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		・地域サポートセンターや他事業所、また教育委員会等、関係専門機関との連携を図っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		・利用されているお子さまについて、保育所や認定こども園と情報共有している場合もございます。交流につきましては、今後検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		・相談援助としての家族支援は行っております。ペアレントトレーニング等に関しては、他事業所等で開催される研修をリーフレット等でご案内しております。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0		
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		・HPやブログ、LINEやインスタグラム等で公開しております。一層、発信回数を増やせるよう努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		・コロナウイルス感染防止の為、地域との交流が少ない状態でしたが、今後交流の機会を考えております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・毎月行い、必要に応じて更新しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・毎月行い、必要に応じて更新しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・毎月行い、必要に応じて更新しております。また、法定研修として定期的に研修を受けております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・緊急連絡先を記入し、連絡帳に入れていただいております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・対応職員が時系列で詳細を記入し、職員間で対策、改善について話し合う機会を持っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・毎年、法定研修として研修を受けています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			